

特集：新型コロナウイルス 無料 PCR 検査

巻頭言

みなさま、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。年末年始は、如何お過ごしでしたでしょうか。マルマでは新型コロナの緊急対応として、当番制で対応していましたが、拍子抜けする位静かな年末年始でした。しかし、それもほんの一時のことで、嵐の前の静けさだったようです。年明けからの全国的なオミクロン株の感染拡大に伴い、県の感染対策事業として無料のPCR検査をマルマで実施することとなりました。既に毎日が、その対応で手一杯です。

そんな中、年始のご挨拶に、ある製造業の経営者の方の所に伺ったのですが、その方はデルタより今回のオミクロンの方が厄介だと心配されていました。それは今回のオミクロンの方が感染力が強いと、感染者や濃厚接触者がデルタよりも圧倒的に多くなり、症状が無くても濃厚接触者も2週間の隔離が必要になるため、工場が止まってしまう可能性が高くなっているとおっしゃっていました。実際、昨年より感染が急拡大しているアメリカでは、ワクチンを打っていれば濃厚接触者は隔離が必要ないことになっているにもかかわらず、社員の感染によって欠勤者が増加し、工場が止まり、スーパーが休業している状態です。

やはり日本もコロナ対応のフェーズを変えなければいけない時期に来ていると思います。感染分類をインフルエンザ相当にすることはまだ難しいと思いますが、これだけ症状が軽いことが分かっているわけですから、今の優先課題は経済活動を如何に止めないかと云うことではないでしょうか。ではどのようにしたらよいのかと云うことですが、その為の無料PCR検査ではないのかと思っています。先ず一定期間の徹底した無料PCR検査で感染者を見つけ、確実に自己隔離させるようにします。そしてアメリカと同じように濃厚接触者でもワクチンを打っている人は隔離を無くし、それと並行してワクチンのブースター接種も急ぎ、経済活動を止めないようにすることだと考えます。現在の状況では、経済が止まれば、感染以上に多くの国民が苦しみます。

コロナ禍が3年目となりました。ここまで続くとは予想だにしていまいませんでしたが、いまだ先が見えていません。経営計画も出来ずにいますが、その日その日乗り切るしかありません。今年も頑張ります。

株式会社マルマ

代表取締役社長 鈴木雅太郎

新型コロナウイルス 無料 PCR 検査

1月14日現在、国内の新型コロナウイルスの新規感染者数が22,045人と発表されました。東京、神奈川、愛知、大阪、沖縄では新規感染者数が1,000~4,000人程に上っています。感染拡大の背景には、変異株の1つであるオミクロン株の流行があり、第6波への対応が必要になっています。

新型コロナウイルス感染の有無を調べる代表的な方法がPCR検査になりますが、静岡県の新型コロナウイルス感染症検査無料化事業として、弊社でも1月6日より無料PCR検査を開始しました。そこで今回のM-TECインフォメーションでは、新型コロナウイルスのPCR検査についてご紹介します。

オミクロン株について

新型コロナウイルスの変異種の1つであるオミクロン株については、未解明な部分も多いですが、以下のような特徴があると考えられています。

- ・既存の株以上に多数の変異が見られるため、細胞の受容体に結合しやすくなり、高い感染力を有している可能性が懸念される。
- ・一度コロナウイルスに感染した人も再度感染する可能性がある。
- ・国立感染症研究所の病原体検出マニュアルに記載のPCR検査法のプライマー部分に変異は無く、検出感度の低下はないと想定される。



また、オミクロン株はデルタ株と比較すると、重症化リスクが低い可能性があるのを見解もありますが、感染者が増加すれば、それに比例して入院を要する人や重症化する人も増加するため、引き続き感染対策を講じていく必要があります。個人的な感染対策としては、オミクロン株であっても、従来と同様に、3密の回避、マスクの着用、手洗い・消毒の徹底、定期的な換気などを心がけるようにしましょう。

新型コロナウイルスの検査法の比較

新型コロナウイルスの検査は「PCR検査」「抗原検査」「抗体検査」の3つが主なものとして挙げられます。

	①目的	②採取する検体	③調べる対象	④特徴
PCR検査	現在、感染しているかどうかを判定	鼻咽頭ぬぐい液 唾液	コロナウイルスの遺伝子配列	ウイルスの検出感度が高い
抗原検査	現在、感染しているかどうかを判定	鼻咽頭ぬぐい液 唾液	コロナウイルスのタンパク質	検査結果が出るまでの時間が短いですが、検出には、一定以上のウイルス量が必要
抗体検査	感染歴の有無を判定	血液	体内に入ったコロナウイルスを認識する抗体	感染症流行の全体像を把握することができるため、疫学調査に用いられる

PCR検査に用いる検体は、鼻咽頭ぬぐい液と唾液の2種類があります。個人での採取が可能で、医療従事者への感染のリスクなく検体を採取することができることから、現在は唾液を用いた検査が主流になっており、弊社でも、唾液での検査を採用しています。

新型コロナウイルス感染症無料PCR検査のご案内

検査対象者

知事要請に応じた、感染不安を感じる無症状の静岡県住民（ワクチン接種者も含まれます）

発熱など新型コロナウイルス感染症の感染を疑う症状を有する場合には、医療機関を受診して下さい。

証明書の有効期限

PCR検査の検査結果有効期限は、検体採取日+3日です。検査結果証明書は、PDFをメールにて送信します。

検査の手順・条件等

申し込み先：株式会社マルマ エムテック衛生検査所

住 所：〒430-0807 浜松市中区佐藤 2-5-11

受付時間：月～日 8:30～19:00（祝日も開設しております）



必要な持ち物

免許証・マイナンバーカード・在留カードなど、住所の入った身分証明書をお持ちの上弊社にお越しください。



受付

会場に到着されましたら係りの者が伺いますので車両でお待ちください。



検査申込書記入

お渡しする検査申込書への記入、QRコードからのメール送信をお願いします。



検体採取

検査キットをお渡しいたしますので、お越しのお車で唾液を採取ください。



採取後

検査申込書と採取済み検体容器を係りの者にお渡しください。（受付は完了になります）



検査

受付完了より翌日以降に検査完了です。

（※検査のご依頼状況により追加で日数を頂く場合がございます。ご了承下さい。）



結果通知・成績書

ご指定のメールアドレスへ成績書を送付いたします。

害虫獣紹介

スズメ

スズメは昔話やことわざにもよく登場する鳥です。日本人にとってなじみ深く、街中や公園、田畑などで見かけることが多いため、身近に感じる人も多いでしょう。今回はこの鳥について紹介します。

生態

北海道から沖縄まで日本全域に分布しています。大きさは全長 15 cm 前後です。繁殖期は 3～8 月で年に 2 回ほど産卵します。イネを好んで食べますが、雑食性なので植物の花の蜜や種子、昆虫などから菓子や生ゴミまで幅広く食べます。

スズメは非常に臆病な性格をしています。カラスや猫など天敵が多く、それらを避けるために彼らの天敵である人の近くに巣を作ります。集合住宅などでは、換気扇の中や軒下、工場などではシャッターボックスの中などに巣を作ることがあります。



写真 スズメ
Passer montanus

被害

住宅や工場では、住み着いたスズメの糞による汚染が問題となります。悪臭や病原菌媒介の原因となることがある他、ダニなどの寄生虫を媒介することもあります。寄生したダニはスズメが巣立った後に屋内に侵入し、人への吸血被害を引き起こします。

対策

住宅や工場に巣が作られた場合は、卵や雛がいない状態であれば巣は撤去できます。スズメの侵入を防ぐ方法には、網目が 20 mm ほどの非常に細かい防鳥ネットを張ることや、隙間を封鎖することが挙げられます。その他に、忌避剤を撒くことで近寄せないようにする方法もあります。防鳥ネットなどを張って侵入対策をする際は、たるみや隙間を出さないようにする必要がありますため、専門の業者に依頼することをお勧めします。

食中毒情報

今月は、件数、患者数ともにノロウイルスを原因とした食中毒が最も多く発生していました。先月と比べてノロウイルス食中毒の件数、患者数が大幅に増えていました。従事者からも検出されていることが明らかになっている事件が多いです。ノロウイルスに感染している従事者が、調理や配膳を担当したことが原因と考えられます。毎日の健康チェック、定期的な検便検査で感染している可能性がある従業員がいないかチェックが必要です。また、疑いがある従業員には、調理や配膳は担当させないようにシフトを調整して、検査で陰性が確認出来てから元に戻すように管理をお願いします。ノロウイルスの食中毒は、梅雨ごろまでは続くため、継続的な管理をお願いします。

全国食中毒発生状況 (12/15～1/14 新聞発表分等)

原因物質	事例	感染者数
ノロウイルス	14	235
寄生虫	8	8
カンピロバクター	7	42
自然毒	2	2
不明・その他	7	81

『ひとつ、ふたつ・・・快適環境を生み出します』

MARUMA MITEC
株式会社 マルマ エムテック衛生検査所
メールアドレス：info@maruma-ec.co.jp

本 社 / 〒430-0807 浜松市中区佐藤 2 丁目 5-11
TEL：(053)464-6400 FAX：(053)465-4120
東京支店 / 〒194-0005 東京都町田市南町田 2-15-14
TEL：(042)850-6454 FAX：(042)850-6456
静岡支店 / 〒422-8046 静岡市駿河区中島 960-1
TEL：(054)202-0210 FAX：(054)202-0220

名古屋支店 / 〒496-0027 愛知県津島市津島北新開 234-2
TEL：(0567)69-4080 FAX：(0567)69-4081
大阪支店 / 〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田 3-5-6
TEL：(06)6475-6550 FAX：(06)6475-6567